IDC 外部コンテンツ使用ポリシー

IDC の調査コンテンツを外部向け資料で利用する際には、IDC パーミッションチームによる事前許諾が必要です。IDC は、クライアント企業（以下、クライアント）が社内の計画策定と対外的なコミュニケーションの両方で、IDC のデータと市場情報を積極的に活用されることを推奨しています。ただし、IDC の情報は著作権で保護されているため、IDC のコンテンツを含む AI 生成マテリアル（AI-Generated Material）を含め、IDC コンテンツの外部使用にはすべて、IDC パーミッションチームによる事前の明示的な書面での許可が必要です。

IDC の名称、データ、グラフィック、引用、IDC のコンテンツを含む AI 生成マテリアル* などを外部で使用するための申請はすべて、IDC パーミッションチーム（permissions@idc.com）宛てに送付してください。

IDC の調査コンテンツを外部で使用できるのはどのような企業ですか？

IDC のリサーチプログラムの現行クライアント、または個別レポートやデータカットを購入された企業は、IDC パーミッションチームによる審査と承認を経て、限られた範囲で外部使用のための引用が認められます。IDC のドキュメントの Web 掲載権（Web Rights）を購入された企業は、IDC パーミッションチームによる審査と承認を経て、そのドキュメントから引用することができます。

IDC の調査コンテンツを外部で使用できないのはどのような企業ですか？

IDC のクライアントではない企業です。IDC のリサーチプログラムの現行クライアントでない企業、または該当するレポートやデータカットなどを購入していない企業は、IDC の調査コンテンツを外部で使用することはできません。

一般に公開されている調査結果のコンテンツを見つけましたが、当社が IDC の現行クライアントでない場合はどうなりますか？

IDC のプレスリリースや、White Paper および InfoBrief などのスポンサー付きコンテンツとして一般に公開されている IDC データについては、過去 18 か月以内に公開されたものであり、IDC の最新データであって、かつ適切な文脈で使用される場合に限り、使用を許可します。この場合も、IDC パーミッションチームによる使用内容の審査が必要です。

IDC への引用申請はどのように提出すればよいですか？

使用を希望する IDC のデータ、引用、調査内容などについて、脚注で出典を完全に明記した上で、実際の使用文脈（例：プレスリリース、スライド、バナー広告など）がわかる形で permissions@idc.com までお送りください。

IDC パーミッションチームからの回答はいつ届きますか？

IDC パーミッションチームの標準的な回答期間は、3 営業日（72 時間）です。

IDC のコンテンツ使用ガイドラインはどのくらいの頻度で変更されますか？

IDC のコンテンツ使用ガイドラインはすべて、随時更新される文書です。必要に応じて更新され、いつでも改訂される可能性があります。

*定義

「AI 生成マテリアル（AI-Generated Material）」とは、IDC の製品およびサービスに搭載された AI 機能、製品、ツールによって生成された具体的な出力結果を指します。

「コンテンツ（Content）」とは、IDC の製品およびサービスを通じて提供される、IDC の調査、データ、分析、引用、グラフィック、その他の著作権で保護された資料を指します。

外部使用が可能なコンテンツ

IDC.com で公開された調査、IDC のスポンサー付き調査（IDC White Paper、InfoBrief、Spotlight など）、Multi-Client Study（マルチクライアント調査）、または IDC Tracker、Spending Guide、QView などの IDC データ製品で公開された調査は、一定の制限の下で外部使用が可能です。これらの調査から派生した、またはこれらの調査を取り込んだ AI 生成マテリアルにも同じ制限が適用され、IDC パーミッションチームの承認が必要です。

詳細：

- データは過去 18 か月以内に公開されたものである必要があります。市場予測／市場シェア／Tracker のデータは、公開されている最新の成果物でなければなりません。

- IDC コンテンツからの抜粋は、IDC の情報源から忠実にそのまま引用する必要があり、抜粋の元の意味を変更または歪めない文脈で使用されなければなりません。数文を超える長い抜粋には、別途ライセンス料が必要になる場合があります。言い換えは一切許可されません。

- IDCの引用許可は、審査のために提出されたコンテンツアセットにのみ適用されます。IDCは、クライアントが選択した任意のコンテンツアセットにおけるIDC情報の使用に対して「包括的な承認」を発行することはありません。IDCコンテンツを含む各コンテンツアセットには、IDCによる個別の審査と承認が必要です。IDCから承認が発行された後にコンテンツアセットに変更が加えられた場合は、改訂されたコンテンツアセット全体を再提出し、改めて審査と承認を受ける必要があります。

- IDC コンテンツはすべて、脚注または本文中で適切に出典を明記する必要があります。出典の形式は以下の通りです。
    - 標準形式：IDC、レポートタイトル、Doc #xxxxxx、発行年月

      IDC White Paper、IDC InfoBrief、IDC Infographic、IDC eBook については、以下のようにスポンサー名を出典に含める必要があります：IDC White Paper（または IDC InfoBrief、IDC Infographic、IDC eBook）、スポンサー：ベンダーX、White Paper のタイトル、Doc #xxxxxx、発行年月

- スライドの場合、出典はノート欄ではなく、スライド上に脚注として記載する必要があります。
- IDCは、独自の裁量により、IDCのコンテンツを使用、表示、または配布する許可を終了または変更する権利を留保します。また、第三者に対して、IDCの単独の判断において、本ガイドラインに準拠していない、またはIDCの権利を損なう可能性があると判断されるコンテンツの使用を修正または削除するよう要求することがあります。さらにIDCは、その商標または著作権の不当な使用や誤用に対して異議を申し立てる権利を留保します。

- Web掲載権（Web Rights）を取得していない限り、クライアントがIDCの調査レポートを第三者と共有することは禁止されています。

AI 生成マテリアル

コンテンツから派生した、コンテンツを取り込んだ、コンテンツを要約した、またはコンテンツに基づく AI 生成マテリアルには、コンテンツと同じアクセスおよび使用の制限が適用されます。これには、IDC のデータ、表、グラフィック、アナリストのコメントに言及した、またはこれらを引用、複製したり、言い換えた AI 生成マテリアルが含まれます。AI 生成マテリアル内でコンテンツを要約、言い換え、その他の形で再表現したものは、引き続き

本使用ポリシーの条件の対象となり、外部で使用する前に IDC パーミッションチームの審査と承認を受ける必要があります。IDC パーミッションチームは、元のコンテンツの本来の意味を変更または歪める AI 生成マテリアルを却下する権利を留保します。

AI 生成マテリアルにコンテンツが含まれる場合も、同じ出典明記の要件が適用されます。コンテンツは、該当する形式（例：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日）で脚注に出典を明記する必要があります。

AI 生成マテリアルにコンテンツが含まれているかどうかを確認する責任は、利用者にあります。AI ツールによって生成された出力であっても、IDC の著作権による保護や本ポリシーの要件の適用が免除されるわけではありません。利用者は、AI 生成マテリアルをコンテンツとして、あるいはあらゆるテーマに関する IDC の公式見解として再配布、公開、または提示してはなりません。また、IDC のアナリストになりすましたり、IDC に帰属する架空のデータ、引用、分析などのコンテンツを捏造したりする AI 生成マテリアルを使用してはなりません。

外部使用が可能な調査コンテンツのタイプ

IDC の従来型の調査レポート・データ

IDC Market Share レポート

IDC Market Forecast レポート

IDC Tracker／QView

IDC Spending Guide

IDC Vendor Profile

IDC Market Glance

IDC ProductScape／IDC ServiceScape

IDC MarketScape

IDC Innovators

IDC FutureScape

IDC PlanScape

IDC TechScape

IDC MaturityScape

IDC Market Perspective

IDC Market Note

IDC Link

IDC Survey Spotlight

IDC Market Analysis Perspective（MAP）

IDC Multi-Client Study（マルチクライアント調査）

アワード

IDC SaaS CSAT Award

IDC FinTech Award

IDC Custom Solutions のスポンサー付き調査レポート

（公開された成果物があるもの）

IDC White Paper／IDC InfoBrief

IDC Spotlight

IDC Analyst Connection

IDC Analyst Brief

IDC Thought Leadership White Paper／InfoBrief

IDC Business Value White Paper

IDC InfoSnapshot

IDC Infographic

外部使用の対象外となる IDC の調査コンテンツ

カスタムの市場規模データ

公開された成果物のないカスタム調査のローデータ（未加工の調査データ）

未公開の IDC 調査

外部使用が可能な調査コンテンツの詳細

IDC コンテンツからの抜粋は、IDC の情報源から忠実にそのまま引用する必要があり、抜粋の元の意味を変更または歪めない文脈で使用されなければなりません。数文を超える長い抜粋には、別途ライセンス料が必要になる場合があります。

IDC Market Share

許可事項：

- 自社（申請者）の市場シェア
- 上位 3 社または上位 5 社のベンダーの市場シェア（WW（世界）または米国のいずれでもない地域では、競合他社名を匿名化する必要があります）
- IDC の市場シェア円グラフの使用（変更を加えず、そのままの形で）

必須事項：

- 市場については IDC の市場定義（Taxonomy）に準拠してください。市場データは、IDC の市場セグメンテーション内で使用される必要があります。IDC の市場定義で認識されていない市場やサブ市場は承認されません。特別な、またはカスタムの市場セグメンテーションは許可されません。
- 期間、地域、測定単位（例：ベンダー収益、出荷台数、容量など）
- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- 競合他社 1 社との直接比較
- 表示するベンダーを恣意的に選択すること
- WW（世界）または米国のいずれでもない地域／国で競合他社名を挙げること

IDC Market Forecast

許可事項：

- 初年度と最終年度の市場合計（例：2025 年、2029 年）および 5 年間の年間平均成長率（CAGR）の表示

必須事項：

- IDC の市場定義（Taxonomy）に準拠してください。市場データは、IDC の市場セグメンテーション内で使用される必要があります。IDC の市場定義で認識されていない市場やサブ市場は承認されません。特別な、またはカスタムの市場セグメンテーションは許可されません。
- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- IDC Executive Forecast Snapshot グラフィックの使用
- 別々の市場予測レポートから取り出した IDC データを組み合わせることは、綿密な審査を受けることになり、許可されない可能性が高いです。
- IDC データに基づく計算は、特に綿密な審査を受けることになり、許可されない可能性が高いです。

IDC Tracker／QView

許可事項：

- 最新の IDC Tracker 成果物から引用したデータ
- 予測：初年度と最終年度の市場合計（例：2025 年、2029 年）および 5 年間の年間平均成長率（CAGR）の表示

- 自社（申請者）の市場シェア
- 上位 3 社または上位 5 社のベンダーの市場シェア（WW（世界）または米国のいずれでもない地域では、競合他社名を匿名化する必要があります）
- 企業の市場ポジション（シェア）は、Trackerの「Company」フィールドに基づいて判断し、企業（ベンダー）名はTrackerに表示されている通りに正確に記載する必要があります（例：IBM、Dell Technologies、Hewlett Packard Enterpriseなど）。
- 市場ポジションに関する記述では、成長率、市場シェア、市場シェアの獲得を慎重に区別してください。成長率と市場シェアに関する記述はパーセンテージで表現してください。市場シェアのリード、獲得、または損失に関する記述は、パーセントポイントで表現してください。
- 順位が同率の場合は、脚注に同率である旨を記載することで、両社ともその順位（例：第1位、第2位）を主張することができます。

必須事項：

- IDC の市場定義（Taxonomy）に準拠してください。市場データは、IDC の市場セグメンテーション内で使用される必要があります。IDC の市場定義で認識されていない市場やサブ市場は承認されません。特別な、またはカスタムの市場セグメンテーションは許可されません。
- 期間、地域、測定単位（例：ベンダー収益、出荷台数、容量など）
- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC Quarterly NAME OF TRACKER Qx 2025（IDC Quarterly Tracker 名、四半期、年）

禁止事項：

- IDC Tracker Query Tool の「Views」セクションで生成されたグラフィック（「INTERNAL USE ONLY（社内使用限定）」と表示されたすべてのチャートを含む）の使用

- 別々の市場予測レポートから取り出した IDC データを組み合わせることは、綿密な審査を受けることになり、許可されない可能性が高いです。

- IDC データに基づく計算は、特に綿密な審査を受けることになり、許可されない可能性が高いです。承認された場合でも、計算結果の出典を直接 IDC とすることはできません。出典は「IDC データに基づく企業 X（自社名）による分析」と記載する必要があります。

- 競合他社 1 社との直接比較
- 表示するベンダーを恣意的に選択すること
- 主張は「Company」フィルターのレベルで行う必要があります。ブランド単位での主張は認められません。
- IDC Trackerの結果に関するプレスリリースで、IDC Trackerのアナリストのコメントを引用すること

- 予備データの使用（予備データは社内使用限定です）

IDC Spending Guide

許可事項：

- 最新の IDC Spending Guide 成果物から引用したデータ
- 表示するデータ量を限定すること（理想的には 1 つまたは 2 つのデータポイント。例：予測の初年度または最終年度のいずれかと、5 年間の CAGR）
- 複数のデータポイント（例：セクターや業種）を示す場合は、データテーブルよりもグラフやチャートの形式が望ましいです。
- 業種は、IDC が公開している標準データと完全に一致させる必要があります。異なる集計方法を用いる場合は、IDC の標準的な業種分類を参照した上で、その定義を脚注に記載する必要があります。

必須事項：

- IDC の市場定義（Taxonomy）に準拠してください。市場データは、IDC の市場セグメンテーション内で使用される必要があります。IDC の市場定義で認識されていない市場やサブ市場（セクター、業種、サブ業種、企業規模区分、ユースケースを含む）は承認されません。特別な、またはカスタムの市場セグメンテーションは許可されません。
- 期間、地域、測定単位（例：通貨単位を付した支出額、シェア（%）、成長率（%））
- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC NAME OF SPENDING GUIDE Vx 2025（IDC Spending Guide 名、バージョン、年）

禁止事項：

- IDC Tracker Query Tool の「Views」セクションで生成されたグラフィック（「INTERNAL USE ONLY（社内使用限定）」と表示されたすべてのチャートを含む）の使用
- 別々の市場予測レポートから取り出した IDC データを組み合わせることは、綿密な審査を受けることになり、許可されない可能性が高いです。
- IDC データに基づく計算は、特に綿密な審査を受けることになり、許可されない可能性が高いです。承認された場合でも、計算結果の出典を直接 IDC とすることはできません。出典は「IDC データに基づく企業 X（自社名）による分析」と記載する必要があります。
- IDC の市場に対する見解を正確に反映しないランキングを示すために、表示する業種を恣意的に選択すること

IDC Vendor Profile

許可事項：

- 当該サービスのクライアントは、レポートの内容を限られた範囲でそのまま引用できます

必須事項：

- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- レポート内容の言い換え
- Vendor Profile への掲載の発表を主な目的とするプレスリリース

IDC Market Glance

許可事項：

- IDC Market Glance に掲載されたこと、および掲載されたカテゴリーについて言及することができます。
- IDC Market Glance のロゴスライドの使用（変更を加えずに）

必須事項：

- 以下の形式で出典を適切に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- 「選出」「ランキング」「注目企業として紹介」などの表現。IDC Market Glance への掲載は、いかなる種類の評価やリーダーシップの主張にも当たりません。
- IDC Market Glance への掲載の発表を主な目的とするプレスリリース

IDC ProductScape

許可事項：

- IDC ProductScape が発行されるプログラムのクライアントであるベンダーは（Excerpt（抜粋版）を購入していない場合でも）、自社のベンダースライドから 2 つの文をそのまま引用することができます。
- レポートに掲載されたベンダーは、IDC ProductScape に掲載されたことについて言及することができます。
- IDC ProductScape の Excerpt（抜粋版）を購入したベンダーは、免責事項の文言を付記した上で、Executive Graphic のスライドを外部で使用することができます。免責事項の文言については、IDC パーミッションチーム（permissions@idc.com）にお問い合わせください。
- IDC ProductScape の Excerpt（抜粋版）を購入したベンダーは、IDC ProductScape のスライドを抜粋版から切り離して単独で使用することができます。

必須事項：

- IDC ProductScape のスライドを使用するには、Excerpt（抜粋版）の購入が必要です。

禁止事項：

- IDC ProductScape の調査結果に基づいて、評価・選出、ランキング、最高評価、またはスコアランキングを行うことはできません。
- IDC は、IDC ProductScape への掲載の発表を主な目的とするプレスリリースを許可していません。

- 競合他社の結果やベンダー名への言及は許可されません。
- 本調査に基づいて他のベンダーと比較することはできません。
- 機能およびカテゴリーのチャートは、いかなる種類のランキングや採点でもありません。企業が自社製品において特定の機能を完全に備えているか、部分的に備えているかなどを示すものです。

IDC MarketScape

許可事項：

- IDC MarketScape に掲載されたすべての企業は、レポートにおける自社のポジションを発表できます（IDC パーミッションチームによる審査と承認が必要です）。
- IDC MarketScape が発行されるリサーチプログラムの IDC クライアントは、レポートから 2 つの文に限りそのまま引用できます。
- 「A 社は『IDC MarketScape: レポート名』においてリーダー（Leader）／メジャープレイヤー（Major Player）に位置づけられました」といった表現で、位置づけられたカテゴリーについて主張できます。
- IDC MarketScape に関するクライアントのプレスリリースでは、見出しまたは小見出しに「IDC MarketScape」を使用できます。これは IDC の通常のガイドラインに対する例外対応に当たります。
- クライアントのマーケティング用販促資料には、IDC のロゴを使用できます。販促資料はクライアントのブランドとして作成してください。クライアントのロゴはすべての販促資料の上部に配置してください。IDC のロゴは販促資料の下部に配置し、クライアントのロゴより 50〜75%小さいサイズにすることができます。
- IDC MarketScape におけるポジションの発表を主な目的とするプレスリリースの発行
- ベンダーは、外部向けの販促資料において、「Vendor to Watch（注目すべきベンダー）」に選ばれたことについて言及できます。

必須事項：

- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC MarketScape、レポート名、ドキュメント番号、発行日
- 企業が位置づけられたポジション（カテゴリー）

- IDC MarketScape のグラフィックを外部で使用する場合は、標準的な説明文、グラフィックファイルに含まれる IDC の著作権表示、および完全な出典明記が必要です。
- IDC MarketScape のプレスリリースにおける IDC MarketScape の定型文（ボイラープレート）

禁止事項：

- IDC MarketScape のプロモーション用のバッジは使用できません。また、IDC がバッジを提供することもありません。
- ランキングや格付けへの言及
- 「群を抜く」「他社との差別化を実現」などの表現の使用
- 「唯一のリーダー（the Leader）」「リードする」「主導的」「先導する」などの表現の使用
- 「受賞」「表彰された」などの表現の使用
- レポートに掲載されている競合他社や競合製品を名指しで比較したり、言及したりすること
- 「最高」「最良」「トップ」などの最上級の表現
- レポート内容の言い換え
- スコアへの言及（スコアは社内使用限定です）
- 掲載されたカテゴリーを述べる以外に、グラフィック内での企業の位置について言及すること
- ニュース配信（ワイヤー配信）される版のプレスリリースでは、IDC MarketScape のグラフィックを使用できません。
- IDC MarketScape のグラフィックを使用するには、Excerpt（抜粋版）とグラフィック使用権の購入が必要です。グラフィックにはいかなる変更も加えることはできません。
- IDC MarketScape のグラフィックを独自に作成すること（認められません）
- クライアントの電子メールの件名に「IDC」を使用すること

IDC Innovators

許可事項：

- IDC Innovators レポートに掲載されたすべての企業は、「『*IDC Innovators：レポート名*』において IDC Innovator に選出された」と言及できます。
- IDC Innovator への選出を発表するプレスリリースを発行できます。
- クライアントのプレスリリースの見出しまたは小見出しにおける「IDC Innovators」の使用（これは IDC の通常のガイドラインに対する例外対応に当たります）
- クライアントのマーケティング用販促資料には、IDC のロゴを使用できます。販促資料はクライアントのブランドとして作成してください。クライアントのロゴはすべての販促資料の上部に配置してください。IDC のロゴは販促資料の下部に配置し、クライアントのロゴより 50〜75%小さいサイズにすることができます。
- 当該レポートが発行されるリサーチプログラムのクライアントは、レポートから 2 つの文をそのまま引用できます。

必須事項：

- IDC Innovator に関するプレスリリースでは、IDC Innovator の定型文（ボイラープレート）を変更せずにそのまま使用する必要があります。
- 以下の形式で出典を完全に明記すること：IDC Innovators、レポート名、ドキュメント番号、発行日
- 「IDC Innovator に選出された（named an IDC Innovator）」という表現を使用すること

禁止事項：

- ランキングへの言及
- 「最高」「最良」「トップ」などの最上級の表現
- レポート内容の言い換え
- レポートに掲載されている他のベンダーへの言及

IDC FutureScape

許可事項：

- 当該サービスのクライアントは、レポートの内容を限られた範囲でそのまま引用できます

- IDC FutureScape のグラフィックを、マーケティング資料などにそのまま（改変せずに）使用すること

必須事項：

- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- レポート内容の言い換え
- IDC FutureScape の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC PlanScape

許可事項：

- 当該サービスのクライアントは、レポートの内容を限られた範囲でそのまま引用できます
- IDC PlanScape のグラフィックを、マーケティング資料などにそのまま（改変せずに）使用すること

必須事項：

- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- レポート内容の言い換え
- IDC PlanScape の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC TechScape

許可事項：

- 当該サービスのクライアントは、レポートの内容を限られた範囲でそのまま引用できます

- IDC TechScape のグラフィックを、マーケティング資料などにそのまま（改変せずに）使用すること

必須事項：

- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- レポート内容の言い換え
- IDC TechScape の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC MaturityScape

許可事項：

- 当該サービスのクライアントは、レポートの内容を限られた範囲でそのまま引用できます
- IDC MaturityScape のグラフィックを、マーケティング資料などにそのまま（改変せずに）使用すること

必須事項：

- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- レポート内容の言い換え
- IDC MaturityScape の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC Market Perspective

許可事項：

- 当該サービスのクライアントは、レポートの内容を限られた範囲でそのまま引用できます

必須事項：

- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- レポート内容の言い換え
- IDC Market Perspective の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC Market Note

許可事項：

- 当該サービスのクライアントは、レポートの内容を限られた範囲でそのまま引用できます

必須事項：

- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- レポート内容の言い換え
- IDC Market Note の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC Link

許可事項：

- サービスのクライアントは、IDC Link から 2〜3 文をそのまま引用できます。

必須事項：

- 以下の形式で出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

- 引用は原文どおりの文章であること

禁止事項：

- 言い換え
- Web 掲載権（Web Rights）を購入せずに、2〜3 文を超えてそのまま引用すること
- IDC Link の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC Survey Spotlight

許可事項：

- サービスのクライアントは、追加料金なしで Survey Spotlight のスライド 1 枚を（そのままの形で）使用できます
- スライド 1 枚からの引用

必須事項：

- 以下の形式で脚注に出典を完全に明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- Web 掲載権（Web Rights）のライセンスを取得していない場合に、両方のスライドを使用すること
- IDC Survey Spotlight の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC Market Analysis Perspective

許可事項：

- 社内の計画立案目的での使用
- IDC が発行した別の文書（例：市場予測レポート、市場シェアレポート）で最初に公表された調査結果の引用

必須事項：

- データが最初に掲載されたレポートを、以下の形式で出典として明記すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

禁止事項：

- 言い換え
- IDC Market Analysis Perspective の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC Multi-Client Study（マルチクライアント調査、MCS）

許可事項：

- IDC Multi-Client Study（MCS）のスポンサー企業、または同調査レポートを購入したクライアントは、エンバーゴ期間の解除後、調査内容をそのまま外部で引用できます。

必須事項：

- データが最初に掲載されたレポートを、以下の形式で出典として明記すること：IDC Multi-Client Study、レポート名、発行日

禁止事項：

- 調査内容の言い換え
- IDC Multi-Client Study の掲載発表を主な目的とするプレスリリース（不可）

IDC Award

IDC SaaS CSAT Award

許可事項：

- 受賞ベンダーは、プレスリリースの見出しや小見出しに「Winner of the IDC's 2020 SaaS Award for xxxx" <文書タイトルに記載された技術／トピック名>」を含めることが推奨されます。ただし、IDCの既存のコンテンツ使用ガイドラインに従い、

「IDC」を単独で使用することはできません。プレスリリースの見出しでは、IDCの代わりに「大手アナリスト企業（Leading Analyst Firm）」や「市場調査会社（Market Research Firm）」といった表現を使用できます。

- 当該レポートが発行されている CIS サービスの IDC クライアントは、以下の特典を利用できます。
    - IDC 2020 SaaS and Cloud CSAT Award を受賞したことを発表する（適切な出典の明記が必要）
    - IDC アナリストの引用を申請し、プレスリリースで使用する

- IDC CIS サービスの非クライアントは、プレスリリースにおいて以下の特典を利用できます。
        - IDC 2020 SaaS and Cloud CSAT Award を受賞したことを発表する（適切な出典の明記が必要）

必須事項：

- 企業は自社について、「Awarded IDC’s 2020 SaaS Award for Customer Satisfaction」または「a winner of IDC's 202x（市場名）Award for Customer Satisfaction」と表記してください。

- • プレスリリースやマーケティング資料などのいずれかの箇所に、以下の形式で完全な出典を記載すること：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日

- 「IDC Award」ロゴを使用するには、パッケージの購入が必要です。

- 出典の詳細を完全に記載すること（レポートタイトル、ドキュメント番号、発行日。例：IDC 2025 SaaS and Cloud CSAT Award: タイトル, (Doc# xxxxxx), Month 202x）

禁止事項：

- カテゴリーおよび認定プログラムは、いかなる点においても、序列や比較ランキングとして示してはなりません。これらのプログラムには「第1位」という位置づけは存在しません。

- クライアントの認定アワード受賞を説明する際、「唯一の」「最高の」「トップ」「唯一無二の」などの最上級表現や比較表現は使用できません。

- IDCは、IDCのカテゴリーアワードまたは認定アワードを、当該ベンダーの製品／サービス、市場でのポジション、他のベンダーと比較したポジションに対するIDCの推奨（明示的か暗示的かを問わない）として使用しようとするいかなる試みも認めません。

- 競合他社や競合製品との直接比較、または競合他社や競合製品を名指しすることは承認されません。

IDC FinTech Rankings

許可事項：

- IDC FinTech Rankings のリストにランク入りした企業は、リスト内での自社の順位を発表するプレスリリースを発行できます。
- Financial Insights プログラムの IDC クライアントは、カスタムのアナリスト引用を申請できます
- IDC Financial Insights の非クライアントには、あらかじめ用意された引用を使用するオプションが提供されます。

必須事項：

- IDC FinTech Rankings のリストが IDC.com で公開されるまでお待ちください。プレスリリースは、公開当日以降に（IDC パーミッションチームによる審査を経た上で）発表できます。

禁止事項：

- IDC FinTech Rankings のロゴパッケージを購入していない場合に、IDC のロゴを使用すること

IDC Custom Solutions によるスポンサー付き調査

公開された IDC のスポンサー付き調査には、公開成果物を伴う製品が含まれます。例：IDC White Paper、IDC InfoBrief、IDC Spotlight、IDC Analyst Connection、IDC Analyst Brief、IDC Technology Spotlight、IDC Business Value White Paper、IDC InfoSnapshot、IDC Infographic、ソートリーダーシップ IDC White Paper

- クライアントにライセンス供与された IDC コンテンツは、追加のパートナーライセンスなしに、クライアントのパートナーが配布することはできません。

- IDC のスポンサー付き製品および White Paper については、出典に以下のようにスポンサーの名前を含める必要があります：*IDC White Paper, Sponsored by Vendor X, Title of White Paper, Doc. #xxxxxx, Publication Date*（IDC White Paper、スポンサー：ベンダーX、White Paper のタイトル、ドキュメント番号、発行日）。そのほかの例は以下の通りです。
  IDC InfoBrief, Sponsored by Vendor X, Title of InfoBrief, Doc. #xxxxxx, Publication Date
  （IDC InfoBrief、スポンサー：ベンダーX、InfoBrief のタイトル、ドキュメント番号、発行日）

- スポンサー付き調査を参照する際は、「sponsored by（スポンサー：）」または「commissioned by（委託：）」を記載し、スポンサー付き調査であることを常に明示する必要があります。

- 「in partnership（提携して）」「in collaboration with（協力して）」「brought to you by（提供）」など、これらに類する表現は使用できません

- 引用はすべて、成果物に記載された文章またはデータポイントをそのまま使用してください。

- クライアントが作成する派生コンテンツ（インフォグラフィック、記事など）に占めるIDCの調査内容は30%までとし、残りはそれ以外の情報源から構成する必要があります。IDCの調査内容は、脚注で適切に出典を明記してください。

- IDCは、スポンサー付きコンテンツを主な目的とするプレスリリースの発行をクライアントに許可していません。この規則の唯一の例外は、ソートリーダーシップを目的とし、100%ベンダー中立であるIDC White PaperまたはIDC InfoBriefです。

デジタルコンテンツ

IDC のデジタルコンテンツには、IDC がオンラインでホストし、固有の URL を通じて提供するすべてのカスタム成果物が含まれます。

ほかのスポンサー付きコンテンツと同様に、IDC のデジタルコンテンツ製品は一定のライセンス期間が設定されたライセンス資産であり、その期間中は一般に公開して使用できます。ライセンス期間が更新されない限り、ライセンス期間の終了時にコンテンツのホスティングは終了します。

デジタルペーパーおよび IDC MarketScape の Excerpt（抜粋版）用に確保・展開される標準の IDC URL は、ライセンス期間の一部として IDC に帰属します。

iView やリードジェネレーションツール用に購入される専用ドメイン名は、ライセンス期間中、IDC が確保します。通常 12 か月のライセンス期間の終了時に、クライアントが IDC と関係のない目的で使用することを希望する場合は、当該ドメインをクライアントに移管できます。

例：

• iView

• リードジェネレーションツール

• インタラクティブセリングツール

• ビジネスバリュースナップショットツール

• デジタルペーパー

• 動画

- IDC が制作する動画コンテンツは、作業範囲記述書（SOW）に別段の定めがない限り、すべてのプロジェクトにおいて埋め込みコードで提供されます。クライアントは、契約に基づき、この埋め込みコードを使用して、任意のオーディエンスに IDC の動画を配信できます。
- クライアントは、IDC の事前の承認または許可なしに、IDC の動画を編集またはカットすることはできません。
- 動画を掲載するすべてのランディングページは、公開前に IDC パーミッションチームに送付し、事前に承認を得る必要があります。
- IDC は、IDC のデジタルコンテンツの認知度向上を支援・促進するマーケティングアセットをクライアントが作成することを推奨しています。マーケティング支援用の販促資料はすべて、最終的に使用する前に IDC パーミッションチームに提出し、承認と確認を受ける必要があります。

- クライアントは、動的に生成される出力の一部でない場合に限り、IDC のデジタルコンテンツから引用できます。引用には、IDC パーミッションチームの承認が必要です。
- 提供されるパフォーマンスマーケティングのインサイトや分析はすべて集計値であり、社内使用に限定されます。
- デジタルコンテンツの出力は個々の入力に基づいて動的に生成されるものであるため、IDC は、その出力に基づく派生資料の作成を許可していません。

外部使用の対象外となる IDC の調査

公開成果物のないカスタムの市場シェア／予測データ、その他のモデリングデータ、および調査の生データ（集計前の回答データ）は社内使用に限定され、外部使用は承認されません。対象外の調査に基づく AI 生成マテリアルも、同様に外部使用の対象外となります。

以下についても、外部使用は許可されません。

カスタムの市場定義

- IDC のシンジケート調査（CIS、Tracker、Spending Guide、Black Book）で公開されていない市場データ（製品機能、収益、支出、出荷、その他の単位データに基づいて新たに定義された市場を含むが、これらに限定されない）は、外部で使用できません。これは以下に適用されます。
- 市場規模
- 市場予測
- ベンダーのシェアと収益

ベンダー比較

名前を挙げた 2 社以上のベンダーの直接的または間接的な比較（少数の有名リーダー企業で構成される高度に集約された市場において比較が暗示される場合を含む）を含むスポンサー付き調査は、外部で使用できません。対象には以下が含まれますが、これらに限定されません。

- ベンダーのシェアと収益
- 投資利益率（ROI）、総所有コスト（TCO）、その他の財務指標
- 製品またはサービスの比較

- 一次調査の結果

他のベンダーと比較して、市場での優位性や差別化を主張する一次調査の結果

市場の大部分を占めるその他の主要ベンダーと比較して、市場での優位性や差別化を主張する一次調査の結果

IDC アナリストが参加するクライアントのウェビナー／講演イベントの宣伝

IDCアナリストが参加するクライアントのウェビナーや講演イベントを宣伝する際は、以下を遵守してください。

- IDCアナリストまたはIDCは、ゲストスピーカーとしてのみ紹介すること
- IDCがウェビナーやイベントの共催者であるかのように見せないこと（いかなる形でも不可）
- ウェビナー／イベントのタイトルにIDCを使用しないこと
- ウェビナー／イベントのサブタイトルには「IDCゲストスピーカー登壇（with IDC guest speaker）」という表現を使用できます
- IDCのロゴは、スピーカー紹介の部分（IDCアナリストの氏名／写真や経歴と併せて）でのみ使用できます。
- 「in partnership（提携して）」などの表現は使用しないこと

有価証券報告書などの証券当局への提出書類および決算説明会／決算発表におけるIDCの調査の使用

IDCは、以下のガイドラインを遵守する場合に限り、クライアントが有価証券報告書などの証券当局への提出書類および決算説明会／決算発表でIDCの調査を使用することを（IDCパーミッションチームによる審査と承認を条件として）許可しています。

- データは、IDCが公開している最新のデータでなければなりません
- データは、公開から18か月以内のものでなければなりません

- IDC の市場定義（Taxonomy）に準拠してください。市場データは、IDC の市場セグメンテーション内で使用される必要があります。IDC の市場定義で認識されていない市場やサブ市場は承認されません。特別な、またはカスタムの市場セグメンテーションは許可されません。
- データに基づいて行った計算は、IDCを直接の出典とすることはできません。出典は「IDCデータに基づく企業X（自社名）による分析」と記載する必要があります。

- IDCのデータをそのまま使用する場合は、以下の形式で脚注に出典を明記してください：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日
- 予測データは、初年度と最終年度の合計値と5年間の年間平均成長率（CAGR）のみを示すことができます
- 市場シェアは、上位3社または上位5社のベンダーのみを示すことができます

訴訟におけるIDCの調査の使用

IDCは、以下を提出できる場合に限り、一定の条件下で訴訟におけるIDCデータの使用を許可しています。

- 訴状および有効な保護命令（PO：Protective Order）の写し。保護命令がない場合は、コンフィデンシャリティリング（機密保持の対象者を限定する取り決め）またはIDCデータの保護措置を証明する書類を提出する必要があります。
- 使用を申請する企業は、当該調査のクライアントであるか、訴訟で使用するデータを購入している必要があります
- 使用を申請する企業またはその代理人である法律事務所は、IDCとコンテンツ使用契約（Content Use Agreement）を締結する必要があります

IDCロゴの使用

第三者がIDCのコーポレートロゴを使用する場合は、すべて以下のガイドラインに従う必要があります。

- IDCのコーポレートロゴは、IDC以外の資料（商品、サービス、Webサイト、出版物を含むが、これらに限定されない）がIDCによって後援、推奨、ライセンス供与されている、またはIDCと提携していることを示唆するような方法で使用してはなりません。
- IDCのコーポレートロゴを、IDC以外の資料において主要な要素または目立つ要素として表示してはなりません。
- IDCのコーポレートロゴを模倣したり、デザイン要素として使用したりしてはなりません（いかなる方法でも不可）。
- IDCのコーポレートロゴを、他社のロゴのすぐ隣に配置してはなりません。
- IDCが独自の判断で、IDCまたはIDCの製品やサービスの評判を損なうおそれがあるとみなす方法で、IDCのコーポレートロゴを使用してはなりません。
    - IDCのコーポレートロゴは、IDCが提供した状態のまま、一切変更を加えずに使用する必要があります。変更には、色、縦横比、デザインの変更、文字、アートワーク、商標記号の削除などが含まれますが、これらに限定されません。IDCのコーポレートロゴにアニメーションを付けたり、変形させたり、遠近感や外観を変えたりしてはなりません。

■ IDCのコーポレートロゴは、黒、白抜き（反転）、またはIDCのコーポレートカラーでのみ表示できます。
■ 製品、グループ、イベント、国、地域などを、IDCのコーポレートロゴの一部に見えるように追加しないでください。

- IDCのコーポレートロゴを適切に配置するには、クライアントの資料の右下に表示してください。クライアントのロゴは資料の左上に配置してください。IDCのロゴは、クライアントのロゴより50〜75％小さいサイズにしてください。
    ■ IDCのコーポレートロゴは、横向き（水平）にのみ表示できます。
    ■ IDCのコーポレートロゴは単独で、またはIDCが承認したほかのオブジェクト（文字、グラフィック、写真など）と直接組み合わせて表示する必要があり、ほかの第三者のオブジェクト（ほかのロゴ、文字、グラフィック、写真、スローガン、数字、デザイン要素、記号を含むが、これらに限定されない）と組み合わせること（枠で囲む、視覚的にグループ化するなど）は一切できません。
    ■ 第三者の文章において、見出し、製品名のロゴタイプ、本文などで「IDC」という語の代わりにIDCのコーポレートロゴを使用してはなりません。

IDCアナリストのカスタム引用

企業は、マーケティング資料用にカスタムのアナリスト引用を申請できます。カスタム引用の作成はアナリストの裁量によります。カスタム引用は、IDCパーミッションチームとIDCアナリストが文脈を踏まえて審査します。引用されるアナリストがクライアント企業が指定する時間枠内に確認を完了できない場合、その引用自体は承認されません。

引用案は、以下を遵守する必要があります。

- アナリストの引用は、IDCの最新のデータ、分析、意見に関して正確、客観的、完全、かつ適切でなければなりません。
- IDCの調査レポートから引用する場合、IDCアナリストのコメントに帰属する引用は、意味が誤解されないように、全体の文脈を踏まえて使用してください。
- 引用は、アナリストの専門分野における市場ニーズ、顧客要件、または技術開発に関した内容である必要があります。
- 引用は企業や製品を宣伝するものであってはなりません。それはクライアント企業の広報担当者の役割です。同様に、特定のベンダーに関する否定的または警告的なコメントは、いかなる形でもその競合他社による利用を許可できません。
- IDCアナリストの正式な肩書きは、アナリストの氏名とともに記載されなければなりません。
- 引用は、いかなる種類の推奨（エンドースメント）にも当たるものであってはなりません

ソーシャルメディアにおけるIDCの調査の使用

公開されたIDCの調査、引用、グラフィックは、LinkedIn、X、Facebook、YouTubeなどのプラットフォームにおけるクライアントのソーシャルメディア投稿で使用できます。ブログもソーシャルメディアとみなされます。

- IDCによる事前承認なしに、FacebookページやLinkedInグループ、X（旧Twitter）のハンドルやハッシュタグの名前に「IDC」を使用することはできません。これらの使用は常に、IDCが主導するイニシアティブのために留保されています。
- ソーシャルメディア上では「#IDC」は「I Do Not Care（どうでもよい）」の略語として使われることがあるため、「#IDC」は使用しないでください
- IDCまたは当該アナリストの承認を得た場合、企業は投稿でIDC（@IDC）やIDCアナリストをタグ付けできます。
- IDCの調査内容には出典を明記してください。該当する形式については、引用する調査の種類ごとの項目をご参照ください。

IDCの調査に関するプレスリリース

IDCは、以下のIDC製品に限り、それらを主な目的とするプレスリリースの発行を企業に許可しています。

- IDC MarketScape
- IDC Innovators
- IDC Trackerの結果
- IDC Market Shareの結果
- IDC FinTech RankingsやIDC SaaS CSAT Awardなど、一部のアワードプログラム
- ソートリーダーシップを目的とした、ベンダー中立のIDC White PaperおよびIDC InfoBrief

その他のIDCの調査は、クライアントの自社に関する別の主題（例：新製品の発表）を主な目的とするプレスリリースで引用できます。IDCの調査は、プレスリリースのメッセージを裏付けるために使用できますが、プレスリリースの主な焦点にすることはできません。IDCのデータは、プレスリリース全体の20％以下に収める必要があります。

IDCは、クライアントのプレスリリースの見出しや小見出しに「IDC」を使用することを許可していません。この規則の唯一の例外は、IDC MarketScape、IDC Innovators、および一部のアワードを主な目的とするプレスリリースです。

IDCは、クライアントのプレスリリースで「IDCの企業定型文（ボイラープレート）」を使用することを許可していません。

使用申請の提出

IDCの調査を外部（貴社外）で使用するための申請は、permissions@idc.com宛て、またはこちらの**オンラインフォーム**からご提出ください。ほとんどの場合、回答までの所要時間は3営業日（72時間）です。

申請時に提出していただく内容：

- 使用を申請するデータ／調査内容／引用（以下の形式で脚注に完全な出典を明記したもの）：IDC、レポート名、ドキュメント番号、発行日
- 資料の原稿（IDCの調査を使用する場所と方法がわかるもの）。編集可能なWord文書でご提出ください。

不正使用への対応

IDC が提供する情報は、IDC パーミッションチームからの書面による許可なしに、複製、抜粋、再フォーマット、翻訳、その他の目的への転用を行ったり、貴社の従業員以外（サプライヤー、関連会社、パートナー、請負業者、投資家、顧客、報道関係者を含む）に配布したりすることはできません。これには、IDC のコンテンツを含む AI 生成マテリアルも含まれます。これらの行為は IDC の著作権に対する侵害に当たり、法的措置の対象となる可能性があります。

IDC パーミッションチームが、著作権で保護された IDC の知的財産（IP）の不正使用を確認した場合、またはその疑いがある場合、IDC は不正使用に対処するための適切な措置を講じ、是正措置を求める権利を留保します。不正使用が速やかに削除または是正されない場合、IDC はさらなる法的措置を講じる権利を留保します。

著作権で保護された IDC の知的財産（IP）の不正使用が疑われる場合は、permissions@idc.com までメールでご連絡ください。